

職域健診機会を利用した検査機会拡大のための新たな HIV 検査体制の研究
-統計解析 総合報告書-

研究分担者 高橋秀人
国立保健医療科学院 統括研究官

研究要旨

本課題は、企業及びその被保険者に対し近年罹患患者数の増加が著しいHIV・梅毒の検診の普及啓発を行った上で、企業等の被保険者のうち希望する者(以下受検者)に検査を実施し、その結果を受けて当該検査が保健所検査を補完する事業となり得るかを検討するものである。この全体研究の中で、受検者に「受診動機」等に関する質問紙調査を実施している。本研究の目的は、(1)HIV企業検診の実現のための実践研究、および(2)職員のHIV検診の受診行動への関連因子の探索である。

初年度(2017年)は研究計画を作成した。次年度(2018年)は1社で実施できた。最終年度は2018年の経験を踏まえ計7社で実施可能となった。研究対象者は計815例(目標133例)である。

職域検診の許可をいただいたA社～G社(計8社)でHIV・梅毒検査と検査の同意書を兼ねて質問紙調査(HIV・梅毒検査質問紙調査)を実施した(2019年3月1日から2019年12月20日)。検査キット1913個配布し、受検者数994人(非同意2人、同意書なし10人)の中で回答のあった815人を対象者とした。調査は「WEB」と「配布」の2種であり、受診に関しては、通常配布22.8%、WEB配布69.4%($p < 0.0001$)とWEB版の方が、有意に受診割合が高かった。

調査項目は性別、年齢、受診動機(①検査しやすかったから、②プライバシーが保たれているから、③職場の環境が整っているから、④心当たりがあるまたは心当たりがないから、⑤検査経験に基づいて、⑥早期発見・早期治療が大切だから、⑦その他(自由記述))であった。

性別に関し男性:女性=588:220(72.7%:27.0%)、平均年齢(男42.3歳、女37.5歳)、男(%)/女(%) ①(96.0%/94.5%, $p=0.337$)、②(95.7%/94.9%, $p=0.701$)、③(84.1%/81.3%, $p=0.333$)、④(62.9%/62.4%, $p=0.934$)、⑤(41.7%/53.5%, $p=0.004$)⑥(92.0%/93.5%, $p=0.549$)となった。

⑦自由記述で下記のワードが入るあるいは下記ワードのような意味となるのは「無料」1.2%/1.8% ($p=0.502$)、「会社」4.8%/5.5% ($p=0.716$)、「研究」2.9%/2.7% ($p=0.999$)、「興味」1.0%/3.2% ($p=0.050$)、「自分」1.5%/4.6% ($p=0.018$)であった。年齢について有意差があったのは⑥20-29歳、30-39歳、40-49歳、50歳以上(97.3%、92.0%、93.8%、86.6%, $p=0.008$)、⑦「研究」0.00%、0.83%、3.83%、6.08% ($p=0.001$)、配布について有意差があったのは①WEB、配布(94.9%、98.6%, $p=0.046$)であった。

HIV・梅毒検査を職域検診で実施することは非常に困難であるが、検査の社会的意義と重要性を説くことで8社から許可が下り、検査を実現できた。職場検診におけるHIV・梅毒検査の先行事例となったと考える。WEB版の方が回答割合が高かった点はいずれも今後の参考になると考えられる。

従業員のHIV検診の受診動機として、「検査経験に基づいて(性差)」、「自分のため(性差)」、「早期発見・早期治療が大切だから(年齢差)」、「研究に協力したい(年齢差)」、「検査しやすかったから(配布法)」の項目で有意差が認められた。HIV職域検診を今後さらに推進するためには、WEB申し込みを用いるなど、上記の点をよりアピールするなど、HIV検診の重要性の理解を深めることが重要であると考えられる。

A. 研究背景

2018年1月に厚労大臣より「性感染症に関する

特定感染症予防指針」が発表され、その中で、「性感染症は、早期発見及び早期治療により治癒、重症化の防止又は感染の拡大防止が可能な疾患であり、性感染症の予防には、正しい知識とそれに基づく注意深い行動が重要である。このため、性感染症に対する予防対策としては、感染する又は感染を広げる可能性がある者への普及啓発及び性感染症の予防を支援する環境づくりが重要である。」と記載されている。これを推進するにあたり、1.原因の究明、2.発生の予防及びまん延の防止、3.医療の提供、4.研究開発の推進、5.国際的な連携、6.施策の評価及び関係機関との連携などについて記載され、この「2.発生の予防及び蔓延の防止」において、性感染症がある等の情報について、国及び都道府県等は民間企業とも連携しながら普及啓発に努めるべきであると記載されている。つまり国と民間企業の連携の下に、普及啓発活動を推進する必要があると定められた状況にある。しかしながら、現在の普及の状況は明らかにされていないどころか、「HIV検査」は従前の「不治の病」などのイメージに伴う一般社会におけるエイズに対する強い差別と偏見を背景に、企業検診でのHIV感染症のスクリーニング検査(以下エイズ検査)はほとんど実施されていないのが実情である。

現在わが国においては、外国人の来日、滞在の機会も増えたこと、2010年以降の梅毒患者の増加を鑑みると、「性感染症全般」について、正確な情報の周知による①適切な医療行動の確保、②差別・偏見の収束、③疫学調査実施の土壌醸成が、必須である。そのため「職域での健診機会を利用した検査機会拡大のための新たな HIV 検査体制」に係る研究が必要となる。

本課題は、企業及びその被保険者に対し近年罹患者数の増加が著しいHIV・梅毒の検診の普及啓発を行った上で、企業等の被保険者のうち希望する者(以下受検者)に検査を実施し、その結果を受けて当該検査が保健所検査を補完する事業となり得るかを検討するものである。この全体研究の中で、受検者に「受診動機」等に関する質問紙調査を実施している。本研究はこの質問紙調査の結果から、受診行動を促進する要因を探索し、HIV職域検診の拡大に繋げることを目的としている。

B. 研究方法,

HIV企業検診の実現のための実践研究対象企業:大同グループ(大同特殊鋼,大同マシナリー等)を想定している。プライマリーエンドポイントは「HIV企業検診を実現できたか否か」となる。

依頼にあたり、HIV健診実施の阻害因子としての「企業の論理」には十分な配慮する必要がある。

職員のHIV検診の受診行動への関連因子の探索について、対象者は対象企業の職員である。研究デザインを「同一対象集団経時観察研究」とし、プライマリーエンドポイントは「受診割合」と設定する。

職域検診の許可をいただいたA社～G社で検査の同意書を兼ねて質問紙調査(HIV・梅毒検査質問紙調査)を実施した。質問票から得られる回答は、①年齢、②性別、③検査を受ける理由(Q1～Q7)の計9項目で、Q1～Q6の質問項目はすべて「はい」または「いいえ」の二択であり、具体的には、Q1)検査しやすかったから、Q2)プライバシーが保たれているから、Q3)職場の環境が整っているから、Q4)心当たりがある、または心当たりがないから、Q5)検査経験に基づいて、Q6)早期発見・早期治療が大切だから、Q7)その他(自由記述)である。

Q7) その他(自由記述)は、記述内容の中に以下の単語、あるいは単語と類似・関連した単語を含む回答を集計している。

「無料」(「ただ」,「タダ」を含む)

「会社」(「職場」を含む)

「研究」(「貢献」,「プロジェクト」,「研修」,「広まる」,「社会」を含む)

「興味」(「知りた」,「たかった」,「向学」を含む)

「自分」(「せっかく」,「安心」,「一応」,「確認」,「陰性」,「結婚」,「妊娠」,「子供」,「念のため」を含む)

統計解析として、 χ^2 検定、Fisher直接確率検定、logistic回帰に基づく係数のWald検定を用いた。有意水準はすべて5%とした。

C. 研究結果

検査キットを1913個配布し、受検者数994人(非同意2人,同意書なし10人)の内、回答のあった815人を対象とした。

受診割合は $994/1913=0.520$ (52.0%)となった。

調査は「WEB」と「配布」の2種類あり、調査項目は性別、年齢、受診動機(①検査しやすかったから、②プライバシーが保たれているから、③職場の環境が整っているから、④心当たりがあるまたは心当たりがないから、⑤検査経験に基づいて、⑥早期発見・早期治療が大切だから、⑦その他(自由記述))である。

性別に関し男性:女性=588:220(72.7%:27.0%) (表1)、平均年齢(男42.3歳、女37.5歳) (表2、表3)、男(%) / 女(%) ①(96.0%/94.5%, p=0.337) (表4-1)、②(95.7%/94.9%, p=0.701) (表4-2)、③(84.1%/81.3%, p=0.333) (表4-3)、④(62.9%/62.4%, p=0.934) (表4-4)、⑤(41.7%/53.5%, p=0.004) (表4-5) ⑥(92.0%/93.5%, p=0.549) (表4-6) となった。⑦自由記述で下記のワードが入るあるいは下記ワードのような意味となるのは「無料」1.2%/1.8% (p=0.502) (表4-7(あ))、「会社」4.8%/5.5% (p=0.716) (表4-7(い))、「研究」2.9%/2.7% (p=0.999) (表4-7(う))、「興味」1.0%/3.2% (p=0.050) (表4-7(え))、「自分」1.5%/4.6% (p=0.018) (表4-7(お))であった。年齢について有意差があったのは⑥20-29歳、30-39歳、40-49歳、50歳以上(97.3%, 92.0%, 93.8%, 86.6%, p=0.008) (表5-6)、⑦「研究」0.00%, 0.83%, 3.83%, 6.08% (p=0.001) (表5-7(う))、配布について有意差があったのは①WEB、配布(94.9%, 98.6%, p=0.046) (表6-1)であった。

D. 考察

HIV・梅毒検査を職場検診で実施することは非常に困難であるが、検査の社会的意義と重要性を説くことで8社から許可が下り、検査を実現できた。職場検診でHIV・梅毒検査を実施する先行事例となったと考える。

WEB申し込みの方が受診割合が高かった点は、

WEB申し込みの方に真に受診を希望する人が多く含まれるということで、これは今後において大いに参考になると考える。従業員のHIV検診の受診動機として、「検査経験に基づいて(性差)」、「自分のため(性差)」、「早期発見・早期治療が大切だから(年齢差)」、「研究に協力したい(年齢差)」、「検査しやすかったから(配布法)」の項目で有意差が認められた。HIV職域検診を今後さらに推進するためには、上記の結果を用いて状況を設定することが必要であると考えられる。

E. 結論

HIV・梅毒検査を職場検診で実施できることが明らかになった。WEB申し込みの方が受診割合が高かった。従業員のHIV検診の受診動機として、検査しやすかったから、プライバシーが保たれているから、職場の環境が整っているから、心当たりがある、または心当たりがないから、検査経験に基づいて、早期発見・早期治療が大切だから、という回答の割合が高かった。HIV職域検診を今後さらに推進するためには、WEB申し込みを用いるなど、上記の点をよりアピールするなど、HIV検診の重要性の理解を深めることが重要であると考えられる。

E. 健康危険情報

本研究に関する健康兼情報は特に報告されていない。

E. 参考文献

F. 知的財産権の出願・登録状況

- | | |
|-----------|---------|
| 1. 特許取得 | 無し(非対象) |
| 2. 実用新案登録 | 無し(非対象) |
| 3. その他 | 無し(非対象) |

表0 配布版別受診割合

	検査キット到着者数	受診割合(%)
配布版	715	22.8
WEB版	1198	69.4

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
2017-2019年度研究報告書

計 1913 994 52.0

p<0.0001

表 1 対象者 (性別)

性別	度数	%
男	588	72.15
女	220	26.99
その他	7	0.86

表 2 対象者 (年齢)

年齢	度数	%	累積 度数	累積 %
	5	0.61	5	0.61
20-29	109	13.37	114	13.99
30-39	240	29.45	354	43.44
40-49	313	38.4	667	81.84
50-	148	18.16	815	100

表 3 : 性別 * 年齢

性別	年齢 (歳)				合計	
	20-29	30-39	40-49	50-		
男性	度数	59	165	240	124	588
	%	10.03	28.06	40.82	21.09	100

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
2017-2019年度研究報告書

表4-1：性別 * Q1 検査しやすかった

性別	Q1		合計
	いいえ	はい	
男性	23 3.96	558 96.04	581
女性	12 5.5	206 94.5	218
合計	35	764	799

欠損値の度数 = 9

P=0.3367

表4-2：性別 * Q2 プライバシーが保た

性別	Q1		合計
	いいえ	はい	
男性	25 4.3	557 95.7	582
女性	11 5.12	204 94.88	215
合計	36	761	797

欠損値の度数 = 11

P=0.7007

表4-3：性別 * Q3 職場環境が整ってい

性別	Q3		合計
	いいえ	はい	
男性	92 15.89	487 84.11	579
女性	40 18.87	172 81.13	212
合計	132	659	791

欠損値の度数 = 17

P=0.3333

表 4 - 4 : 性別 * Q 4 心当たりがある、または心当たりがないから

性別	Q4		合計
	いいえ	はい	
男性	214 37.15	362 62.85	576
女性	80 37.56	133 62.44	213
合計	294	495	789

欠損値の度数 = 19

P=0.934

表 4 - 5 : 性別 * Q 5 検査経験に基づいて

性別	Q5		合計
	いいえ	はい	
男性	334 58.29	239 41.71	573
女性	99 46.48	114 53.52	213
合計	433	353	786

欠損値の度数 = 22

P=0.0036

表 4 - 6 : 性別 * Q 6 早期発見・早期治療が大切だから

性別	Q6		合計
	いいえ	はい	
男性	46 7.96	532 92.04	578
女性	14 6.54	200 93.46	214
合計	60	732	792

欠損値の度数 = 16

P=0.549

表4-7(あ)：性別*Q7自由記述（無料等）

性別	Q7 無料等)		
	いいえ	はい	合計
男性	581 98.81	7 1.19	588
女性	216 98.18	4 1.82	220
合計	797	11	808

P=0.5023

表4-7(い)：性別*Q7自由記述（会社関係等）

性別	Q7 会社関係等)		
	いいえ	はい	合計
男性	560 95.24	28 4.76	588
女性	208 94.55	12 5.45	220
合計	768	40	808

P=0.7162

表4-7(う)：性別*Q7自由記述（研究等）

性別	Q7 研究等)		
	いいえ	はい	合計
男性	571 97.11	17 2.89	588
女性	214 97.27	6 2.73	220
合計	785	23	808

P=1

表 4 - 7 (え) : 性別 * Q 7 自由記述 (興味等)

性別	Q7 興味等)		合計
	いいえ	はい	
男性	582 98.98	6 1.02	588
女性	213 96.82	7 3.18	220
合計	795	13	808

P=0.0524

表 4 - 7 (お) : 性別 * Q 7 自由記述 (自分等)

性別	Q7 自分等)		合計
	いいえ	はい	
男性	579 98.47	9 1.53	588
女性	210 95.45	10 4.55	220
合計	789	19	808

P=0.0177

表 5-1：年齢 * Q1 検査しやすかったから

年齢		Q1		合計
		いいえ	はい	
20-29	度数	5	104	109
	%	4.59	95.41	100
30-39	度数	5	232	237
	%	2.11	97.89	100
40-49	度数	14	294	308
	%	4.55	95.45	100
50-	度数	12	135	147
	%	8.16	91.84	100
合計	度数	36	765	801
	%	4.49	95.51	100

P=0.055

最尤推定値の分析

パラメータ	自由度	推定値	標準誤差	Wald	
				カイ 2 乗	Pr > ChiSq
切片	1	4.5957	0.8465	29.4742	<.0001
年齢	1	-0.0364	0.019	3.6718	0.0553

オッズ比の推定

効果	点推定	95% Wald	
		信頼限界	
年齢	0.964	0.929	1.001

表5-2：年齢 * Q2 プライバシーが保たれているか

年齢		Q2		合計
		いいえ	はい	
20-29	度数	9	100	109
	%	8.26	91.74	100
30-39	度数	11	226	237
	%	4.64	95.36	100
40-49	度数	10	296	306
	%	3.27	96.73	100
50-	度数	6	141	147
	%	4.08	95.92	100
合計	度数	36	763	799
	%	4.51	95.49	100

P=0.110

最尤推定値の分析

パラメータ	自由度	推定値	標準誤差	Wald	
				カイ 2 乗	Pr > ChiSq
切片	1	1.8467	0.754	5.9996	0.0143
年齢	1	0.0303	0.019	2.5503	0.1103

オッズ比の推定

効果	点推定	95% Wald	
		信頼限界	
年齢	1.031	0.993	1.07

表5-3：年齢*Q3職場の環境が整っているか

年齢		Q3		合計
		いいえ	はい	
20-29	度数	14	93	107
	%	13.08	86.92	100
30-39	度数	51	183	234
	%	21.79	78.21	100
40-49	度数	48	259	307
	%	15.64	84.36	100
50-	度数	19	126	145
	%	13.1	86.9	100
合計	度数	132	661	793
	%	16.65	83.35	100

P=0.201

最尤推定値の分析

パラメータ	自由度	推定値	標準誤差	Wald	
				カイ2乗	Pr > ChiSq
切片	1	1.0662	0.433	6.0617	0.0138
年齢	1	0.0134	0.0105	1.6333	0.2013

オッズ比の推定

効果	点推定	95% Wald	
		信頼限界	
年齢	1.013	0.993	1.035

表5-4：年齢*Q4心当たりがある、または心当たりがないから

年齢		Q4		合計
		いいえ	はい	
20-29	度数	40	68	108
	%	37.04	62.96	100
30-39	度数	90	146	236
	%	38.14	61.86	100
40-49	度数	106	197	303
	%	34.98	65.02	100
50-	度数	57	87	144
	%	39.58	60.42	100
合計	度数	293	498	791
	%	37.04	62.96	100

P=0.801

最尤推定値の分析

パラメータ	自由度	推定値	標準誤差	Wald	
				カイ2乗	Pr > ChiSq
切片	1	0.6137	0.3382	3.294	0.0695
年齢	1	-0.00204	0.00805	0.0639	0.8005

オッズ比の推定

効果	点推定	95% Wald	
		信頼限界	
年齢	0.998	0.982	1.014

表5-5：年齢 * Q5 検査結果に基づいて

年齢		Q5		合計
		いいえ	はい	
20-29	度数	52	54	106
	%	49.06	50.94	100
30-39	度数	131	106	237
	%	55.27	44.73	100
40-49	度数	166	137	303
	%	54.79	45.21	100
50-	度数	87	55	142
	%	61.27	38.73	100
合計	度数	436	352	788
	%	55.33	44.67	100

P=0.091

最尤推定値の分析

パラメータ	自由度	推定値	標準誤差	Wald	
				カイ 2 乗	Pr > ChiSq
切片	1	0.3314	0.3299	1.0088	0.3152
年齢	1	-0.0133	0.00789	2.86	0.0908

オッズ比の推定

効果	点推定	95% Wald	
		信頼限界	
年齢	0.987	0.972	1.002

表5-6：年齢 * Q6 早期発見・早期治療が大切だから

年齢		Q6		合計
		いいえ	はい	
20-29	度数	3	106	109
	%	2.75	97.25	100
30-39	度数	19	219	238
	%	7.98	92.02	100
40-49	度数	19	286	305
	%	6.23	93.77	100
50-	度数	19	123	142
	%	13.38	86.62	100
合計	度数	60	734	794
	%	7.56	92.44	100

P=0.008

最尤推定値の分析

パラメータ	自由度	推定値	標準誤差	Wald	
				カイ2乗	Pr > ChiSq
切片	1	4.1877	0.6687	39.2146	<.0001
年齢	1	-0.0398	0.015	7.0433	0.008

オッズ比の推定

効果	点推定	95% Wald	
		信頼限界	
年齢	0.961	0.933	0.990

表5-7(あ)：年齢 * Q7 自由記述（無料等）

年齢		Q7 無料等)		合計
		いいえ	はい	
20-29	度数	107	2	109
	%	98.17	1.83	100
30-39	度数	234	6	240
	%	97.5	2.5	100
40-49	度数	310	3	313
	%	99.04	0.96	100
50-	度数	148		148
	%	100		100
合計	度数	799	11	810
	%	98.64	1.36	100

P=0.074

最尤推定値の分析

パラメータ	自由度	推定値	標準誤差	Wald	
				カイ ² 乗	Pr > ChiSq
切片	1	-1.8425	1.3183	1.9535	0.1622
年齢	1	-0.0635	0.0356	3.1893	0.0741

オッズ比の推定

効果	点推定	95% Wald	
		信頼限界	
年齢	0.938	0.875	1.006

表5-7(い)：年齢*Q7自由記述（会社関係等）

年齢		Q7（会社関係等）		合計
		いいえ	はい	
20-29	度数	107	2	109
	%	98.17	1.83	100
30-39	度数	226	14	240
	%	94.17	5.83	100
40-49	度数	295	18	313
	%	94.25	5.75	100
50-	度数	141	7	148
	%	95.27	4.73	100
合計	度数	769	41	810
	%	94.94	5.06	100
P=0.646				

最尤推定値の分析

パラメータ	自由度	推定値	標準誤差	Wald	
				カイ2乗	Pr > ChiSq
切片	1	-3.2651	0.7490	19.0039	<.0001
年齢	1	0.00808	0.0176	0.2109	0.6461

オッズ比の推定

効果	点推定	95% Wald	
		信頼限界	
年齢	1.008	0.974	1.043

表5-7(う)：年齢*Q7自由記述（研究等）

年齢		Q7（研究等）		合計
		いいえ	はい	
20-29	度数	109	-	109
	%	100	-	100
30-39	度数	238	2	240
	%	99.17	0.83	100
40-49	度数	301	12	313
	%	96.17	3.83	100
50-	度数	139	9	148
	%	93.92	6.08	100
合計	度数	787	23	810
	%	97.16	2.84	100

P=0.001

最尤推定値の分析

パラメータ	自由度	推定値	標準誤差	Wald	
				カイ2乗	Pr > ChiSq
切片	1	-7.4046	1.2263	36.4578	<.0001
年齢	1	0.0874	0.0255	11.7621	0.0006

オッズ比の推定

効果	点推定	95% Wald	
		信頼限界	
年齢	1.091	1.038	1.147

表5-7(え)：年齢 * Q7自由記述（興味等）

年齢		Q7（興味等）		合計
		いいえ	はい	
20-29	度数	107	2	109
	%	98.17	1.83	100
30-39	度数	234	6	240
	%	97.50	2.50	100
40-49	度数	311	2	313
	%	99.36	0.64	100
50-	度数	145	3	148
	%	97.97	2.03	100
合計	度数	797	13	810
	%	98.40	1.60	100

P=0.589

最尤推定値の分析

パラメータ	自由度	推定値	標準誤差	Wald	
				カイ 2 乗	Pr > ChiSq
切片	1	-3.4432	1.2548	7.5297	0.0061
年齢	1	-0.0167	0.0309	0.2924	0.5887

オッズ比の推定

効果	点推定	95% Wald	
		信頼限界	
年齢	0.983	0.926	1.045

表5-7(お)：年齢 * Q7自由記述（自分等）

年齢		Q7 (自分等)		合計
		いいえ	はい	
20-29	度数	107	2	109
	%	98.17	1.83	100
30-39	度数	233	7	240
	%	97.08	2.92	100
40-49	度数	305	8	313
	%	97.44	2.56	100
50-	度数	146	2	148
	%	98.65	1.35	100
合計	度数	791	19	810
	%	97.65	2.35	100

P=0.829

最尤推定値の分析

パラメータ	自由度	推定値	標準誤差	Wald	
				カイ2乗	Pr > ChiSq
切片	1	-3.5042	1.0596	10.9366	0.0009
年齢	1	-0.00551	0.0255	0.0467	0.8289

オッズ比の推定

効果	点推定	95% Wald	
		信頼限界	
年齢	0.995	0.946	1.045

表6-1：配布状況別*Q1検査しやすかったから

		Q1		合計
		いいえ	はい	
配布	度数	2	143	145
	%	1.38	98.62	
WEB	度数	34	627	661
	%	5.14	94.86	
合計	度数	36	770	806

P=0.0460

表6-2：配布状況別*Q2プライバシーが保たれているから

		Q2		合計
		いいえ	はい	
配布	度数	5	140	145
	%	3.45	96.55	
WEB	度数	32	627	659
	%	4.86	95.14	
合計	度数	37	767	804

P=0.6608

表6-3：配布状況別*Q3職場の環境が整っているか

		Q3		合計
		いいえ	はい	
配布	度数	23	121	144
	%	15.97	84.03	
WEB	度数	110	544	654
	%	16.82	83.18	
合計	度数	133	665	798

P=0.9018

表6-4：配布状況別*Q4心当たりがある、または心当たりがないから

		Q4		合計
		いいえ	はい	
配布	度数	44	101	145
	%	30.34	69.66	
WEB	度数	251	400	651
	%	38.56	61.44	
合計	度数	295	501	796

P=0.0709

表6-5：配布状況別*Q5検査経験に基づいて

		Q5		合計
		いいえ	はい	
配布	度数	88	56	144
	%	61.11	38.89	
WEB	度数	352	297	649
	%	54.24	45.76	
合計	度数	440	353	793

P=0.1391

表6-6：配布状況別*Q6早期発見・早期治療が大切だから

		Q6		合計
		いいえ	はい	
配布	度数	7	139	146
	%	4.79	95.21	
WEB	度数	53	600	653
	%	8.12	91.88	
合計	度数	60	739	799

P=0.2229

表6-7(あ)：配布状況別*Q7自由記述(無料等)

		Q7 無料等)		合計
		いいえ	はい	
配布	度数	146	1	147
	%	99.32	0.68	
WEB	度数	658	10	668
	%	98.50	1.50	
合計	度数	804	11	815
P=0.6992				

表6-7(い)：配布状況別*Q7自由記述(会社関係等)

		Q7 会社関係等)		合計
		いいえ	はい	
配布	度数	144	3	147
	%	97.96	2.04	
WEB	度数	630	38	668
	%	94.31	5.69	
合計	度数	774	41	815
P=0.0922				

表6-7(う)：配布状況別*Q7自由記述(研究等)

		Q7 研究等)		合計
		いいえ	はい	
配布	度数	140	7	147
	%	95.24	4.76	
WEB	度数	652	16	668
	%	97.60	2.40	
合計	度数	792	23	815
P=0.1622				

表6-7(え)：配布状況別*Q7自由記述(興味等)

		Q7 興味等)		合計
		いいえ	はい	
配布	度数	143	4	147
	%	97.28	2.72	
WEB	度数	659	9	668
	%	98.65	1.35	
合計	度数	802	13	815
P=0.2672				

表6-7(お)：配布状況別*Q7自由記述(自分等)

		Q7 自分等)		合計
		いいえ	はい	
配布	度数	146	1	147
	%	99.32	0.68	
WEB	度数	650	18	668
	%	97.31	2.69	
合計	度数	796	19	815
P=0.2248				